

全 体

- 出題範囲：「公共」・「政治・経済」の範囲内で、総合的・基礎的な知識を幅広く出題する。
- 形 式：大問2題で、それぞれにテーマ別のリード文を提示し、空欄補充、政治経済に関連する事象・用語の下線部に関する事項、図表・史料の読み取りを問う。
2026 年度のリード文では、憲法、平和と国際社会、民主主義、地方自治、司法制度、貿易を中心に、資本主義経済の発展と変容、農業・食料問題などを取り上げた。
- 時 代：主として近代から現代まで。出題にあたり、特定の時代のみを取り扱わない。
- 分 野：政治・法律・経済・外交・社会・文化などの諸分野。出題にあたり、特定の分野のみを取り扱わない。
- 強 調 点：民主政治の基本原則、日本国憲法の基本原則、日本の政治機構、現代経済の仕組み、日本経済の発展と現状、国際政治の仕組み、国民経済と国際経済などを通じて、政治・経済の基本原則と概念、現代日本および国際政治・経済の特質と課題、さらにはそれらがどのような歴史的な変化・文脈の中で形成されてきたのか、を問う。

問 い 方

- 空欄補充（記述・選択・語句組合せ）：
政治経済に関連する事象・用語について正確な知識・理解を問う。
- 正文選択・誤文選択：
政治経済に関連する事象について正確な知識・理解を問う。
- 年代整序：政治経済に関連する事象について、時系列的な因果関係および展開プロセスについて正確な理解を問う。
- 図表・史料：地図、写真、図、統計グラフ、法令、条約を通して、政治経済に関連する事象についての正確な知識・理解を問うとともに、それらの政治的・経済的・社会的背景の理解を問う。

目 標

- 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済などについての概念や理論などを理解し、考察することができるか。
- 政治・経済に関わる事象の意味や意義、特色を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、多面的・多角的に考察化して概念化できるか。
- 国内、国際社会それぞれにおいて、政治・経済などの側面を総合的・一体的に捉えたうえで、現実社会の諸課題を多面的・多角的に考察、構想できるか。
- 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済などに関する概念や理論、歴史的な視点、国際的な視点などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明することができるか。